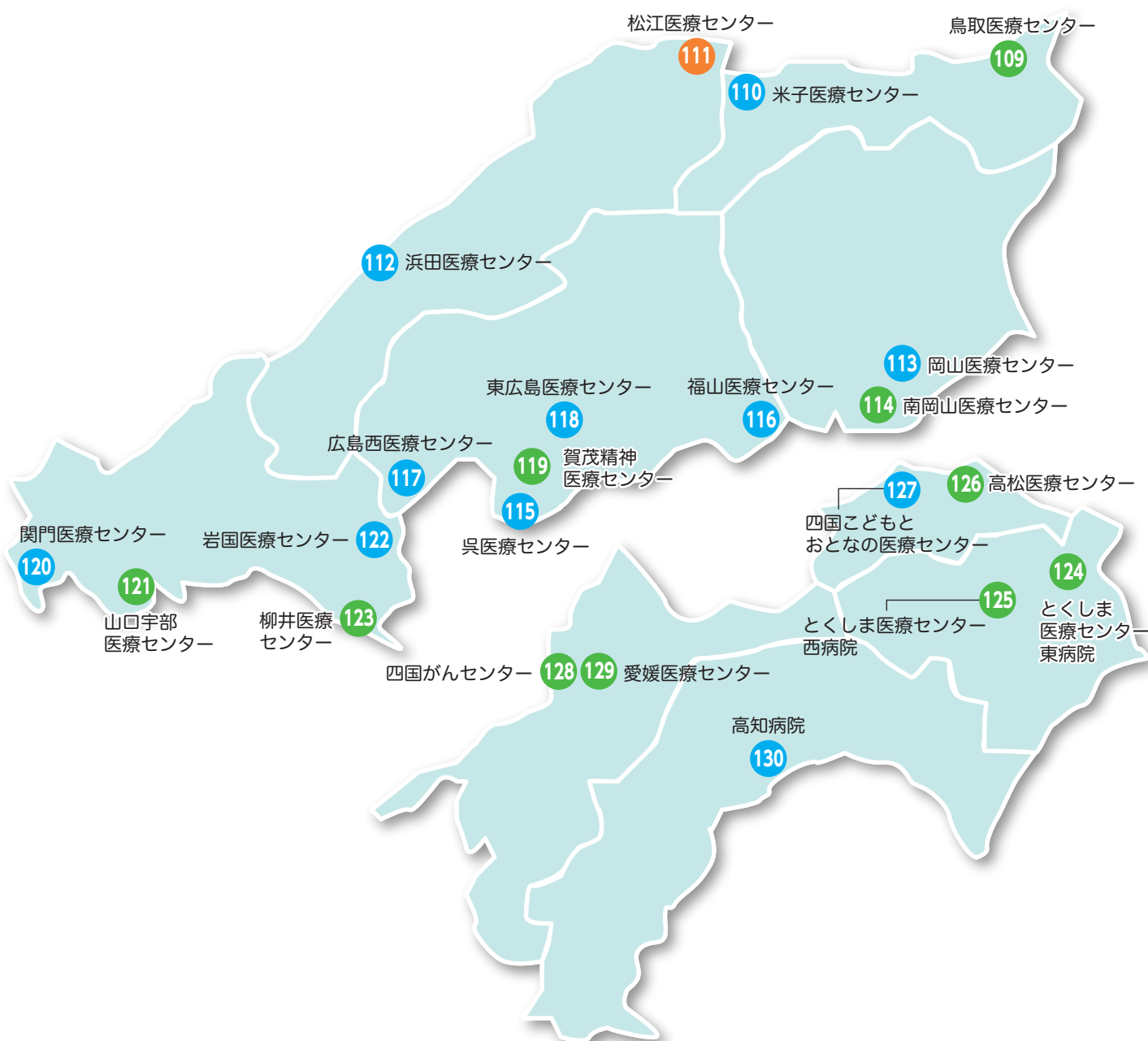


中国四国グループの22病院一覧



中国四国グループ 臨床研修施設一覧

頁	都道府県	基幹施設名	臨床研修	専門研修（基本領域）																		
				内 科	小 児 科	皮 膚 科	精 神 科	外 科	産 婦 人 科	整 形 外 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科	脳 神 経 外 科	放 射 線 科	麻 酔 科	病 理	臨 床 検 査	救 急 科	形 成 外 科	リ ハ ビ リ	総 合 診 療 科
109	鳥取県	鳥取医療センター	協力型				▲															
110		米子医療センター	基幹型	▲	▲			▲														
111	島根県	松江医療センター	協力施設	▲																		
112		浜田医療センター	基幹型	▲	▲			▲	▲	▲			▲	▲	▲	▲	▲		▲		▲	▲
113	岡山県	岡山医療センター	基幹型	●	▲	▲		●	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲			▲		●
114		南岡山医療センター	協力型	▲	▲																	
115	広島県	呉医療センター	基幹型	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲		▲	▲		
116		福山医療センター	基幹型	●	▲			▲	▲	▲		▲	▲		▲	▲				▲		●
117		広島西医療センター	基幹型	▲	▲	▲		▲		▲			▲		▲							▲
118		東広島医療センター	基幹型	●	▲	▲		▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲					
119		賀茂精神医療センター	協力型				▲															
120	山口県	関門医療センター	基幹型	▲	▲		▲	▲	▲	▲		▲	▲		▲	▲	▲		▲			
121		山口宇部医療センター	協力型	▲				▲														
122		岩国医療センター	基幹型	●	▲	▲		▲	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲		●
123		柳井医療センター	協力型	▲				▲														
124	徳島県	とくしま医療センター 東病院	協力型	▲	▲			▲		▲					▲							
125		とくしま医療センター 西病院	協力型	▲																	▲	
126	香川県	高松医療センター	協力型	▲																		
127		四国こどもとおとなの 医療センター	基幹型	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲	●	▲		▲	▲	▲	
128	愛媛県	四国がんセンター	協力型	▲				▲	▲	▲		▲	▲		▲		▲			▲		
129		愛媛医療センター	協力型	▲				▲		▲												
130	高知県	高知病院	基幹型	▲	▲											▲						

専門研修・・・●：基幹施設 ※連携施設も含む ▲：連携施設



鳥取医療センター



病院長名	高橋 浩士
住 所	〒689-0203 鳥取県鳥取市三津876
電話番号	0857-59-1111
アクセス	JR（山陰本線）鳥取大学前駅から徒歩で5分 鳥取空港から車で5分

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在			
内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
1	1	0	0	8	2	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	0	
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計					
0	0	0	11	0	0	0	0						29					

□ 病床数（医療法病床数）							2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち筋ソ	結核	精神	感染症	療養	計
144	160			191			495

□ 1日平均患者数	外来	102件	入院	386件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	136件	救急車	40件	ドクターヘリ	0件
□ 年間手術件数	総数	0件	全身麻酔	0件	ダビンチ	無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用					
□ 福利厚生施設	宿舎	無	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	6名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	0回（剖検数 1件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 1回 / 月平均	専門研修 1回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	—
2 年 次	—	—
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取市立病院、鳥取生協病院

□ 研修の領域

精神科、脳神経内科

□ 研修の特徴

- 1) 神経疾患の診かた。特に脳卒中、パーキンソン病や ALS など神経疾患の診断・治療法の習得
- 2) もの忘れ外来：認知症の原因疾患の鑑別習得。認知症治療病棟：BPSD への対処法習得
- 3) 精神科救急医療における対処法の習得

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
			△															

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	腸胃	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					△									
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						

病院PR

当院は日本海を眺望する小高い場所に立地しており、鳥取砂丘コナツ空港からは3kmと近い。病院からは日本海と離発着の飛行機が視界に入ります。東京まで飛行機を利用すれば移動時間は80分であり、関東からパーキンソン病のリハビリテーション入院を目的に来院される方もおられます。患者層は慢性期機能、回復期機能の対象患者が主です。脳神経内科医は筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病関連疾患を主とした神経難病病棟、脳卒中後の回復期リハビリ病棟、認知症病棟、一般病棟、重症心身障害病棟にかかわっています。精神科では医療観察法病棟での診療も行っています。鳥取県は人口最少県ですが、脳神経内科の専門医は人口当たりの割合でみると全国で2番目に多い県になり、近隣の脳神経内科医との連携が整っています。

研修担当

□ 統括診療部長 土居 充

脳神経内科は日本神経学会の教育施設に認定され、常勤6名の脳神経内科医（うち4名の専門医）が在籍しております。パーキンソン病・ALS・脊髄小脳変性症など神経難病医療について鳥取県東部の拠点となっており、多くの疾患を経験できます。回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中後の回復過程だけでなく地域の医療機関につなげる地域医療を実践できます。パーキンソン病センターでは多職種の方とのカンファレンスを通じていかにパーキンソン病の患者さんを支えていくか学べると思います。特に、パーキンソン病のリハビリテーションについてはリハビリスタッフ、看護師、管理栄養士、薬剤師との連携を体験していただきたいと思います。



トピックス

- ・2020年12月にパーキンソン病センターを開設しました。病初期から進行期まで、患者支援についてカンファレンスを通じて多職種が連携して行っています。持続皮下注療法への導入やDBS後の管理も含め、院内認定のPDナースやLSVT資格を有するリハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーと協力し、よりよいパーキンソン病診療を実践しています。パーキンソン病のリハビリには、リハビリ支援ロボット「ウェルウォーク」、VR（仮想現実）治療機器「カグラ」、MR（複合現実）治療機器「リハまる」など、先進医療機器を活用しています。外来リハに加え、短期集中リハビリ入院も行っており、県外からもリハビリ入院目的の紹介を受けています。
- ・認知症医療では、物忘れ外来による診断、認知症病棟での入院医療、アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬による治療の導入をおこなっています。
- ・日本睡眠学会総合専門医による睡眠外来を行っており、睡眠ポリソムノグラフィ検査を実施しております。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課

担当医師 統括診療部長 土居 充

T E L 0857-59-1111

F A X 0857-59-1589

E-mail 500-kanrika@mail.hosp.go.jp





米子医療センター



病院長名	鱒岡 直人
住 所	〒683-0006 鳥取県米子市車尾4-17-1
電話番号	0859-33-7111
アクセス	JR 米子駅より日本交通バス 福万線 日下行 (⑥番のりば発) 若しくは 水浜線 観音寺新町経由 遠藤行 (⑥番のりば発)「米子医療センター」下車

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在				
内	呼	消	内	循	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻
7	5	3	2	0	2	0	3	0	0	0	3	0	5	0	0	0	1	3	
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感	他												
2	0	0	0	0	1	0	3							40					

□ 病床数 (医療法病床数)								2025年10月1日現在	
一般	一般うち重心	一般うち軽シス	結核	精神	感染症	療養	計		
270							270		

- 1日平均患者数 外来 360件 入院 197件 (2024年度実績)
- 年間救急受入数 患者数 5,128件 救急車 1,923件 ドクターヘリ 1件
- 年間手術件数 総数 2,239件 全身麻酔 1,651件 ダビンチ 無
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 29名 2026年1月1日現在
- 臨床病理検討会 (CPC) の実施状況 0回 (剖検数 0件) (2024年度)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り (発表者のみ)
- 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 0回 / 月平均
- 給与 (目安) ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	358,000 円/月	常勤職員に準じる
2 年 次	387,000 円/月	常勤職員に準じる
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴 1年目は、主に必須の内科系診療科を中心に診療の基礎を学ぶ。
・各科専門指導医とともに日当直を行い、マンツーマンでの指導を受ける。
・必須を含め、当院にない診療科は近隣の病院にて研修を行う。
- 研修終了後の進路 常勤職員採用も可能
- 研修医の出身大学 鳥取大学 他
- 募集人数 3名
- 試験日程 2026年8月
- 選考方法 書類審査、面接

専門研修

□ 基本領域 (○基幹施設 △連携施設)

内	小	皮	精	外	産	整	耳	脳	麻	病	検	救	形	リ	総
小	児	膚	神	婦	婦	外	鼻	外	酔	理	査	急	外	ハ	診
△	△			△											

□ サブスペシャルティ領域 (○教育施設等 △連携施設等)

消	内	呼	血	内	腎	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	臓	外	外	外	外	外	診	治
				糖	腸	腸						
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖				
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿				
						鏡	泌	病				

□ その他特記事項

- ・基幹施設である鳥取大学と連携し、研修内容について柔軟に対応している。

病院PR

当院は政策医療における「がん」、「腎」、「血液」の専門医療施設としての高度医療を推進しています。また、病院群輪番制病院 (成人及び小児の第二次救急医療病院)、がん診療連携拠点病院に準じる病院、地域医療支援病院の指定を受けており、鳥取県西部地域の中心的医療機関として鳥取大学医学部附属病院、地元医師会、近隣病院とも緊密に連携し地域医療への貢献を行っています。鳥取大学の関連病院として学才交流を実施し、初期臨床研修医を対象に国立病院機構本部及び中国四国グループ主催の研修会に参加することにより、他施設の研修医とともに指導医による研修会を通じレベルアップを図ることができます。

臨床研修医の声

□ 研修医 福光 咲季

研修医になってもうすぐ一年です。初めは分からないことばかりでしたが、日々の研修の中で少しずつ成長を実感しています。改めて感じる当院の魅力は、自由度の高い研修環境と、先生方・スタッフの皆さまの温かさです。少人数だからこそ多くの症例を経験でき、どの指導医の先生方も手厚く指導してください。また空き時間には科を越えて手技練習にも快く応じていただけるため、エコーや採血、気管挿管などの経験も重ねています。主体的に学び成長できる研修体制が整っており、それを支えてくださる優しい先生方・スタッフの皆さまがいる環境があることが当院最大の魅力です。



研修担当より

□ 診療部長 福木 昌治

当院は、緩和ケア病床20床を含む計270床を有する鳥取県西部地区の基幹病院です。中規模な病院ではありますが、鳥取県西部地域に必要な急性期医療と2次救急医療、一般診療を行うといった地域の中核病院としての必要機能を有した上で、がん治療に特化した医療を提供しています。平成30年には、病院に隣接して医療連携センターを増築し、シミュレーションラボが充実しています。



トピックス



『医療連携センター』は、病院本館の東側に位置し、延べ床面積 1,239㎡ 3階建ての施設です。1階は、医療従事者や地域住民を対象とした市民公開講座やフォーラム等が行える『くずもホール』を設け、200名を超える人員を収容することができます。2階の地域医療連携室 (地域ケア推進室) では、がん患者さんへの在宅医療などを推進しています。3階には、救命救急や病室での処置を想定した実習ができるスキルアップラボをメインに、実習生の休憩室・更衣室を設けています。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 事務部 管理課 庶務班長
- 担当医師 診療部長 福木 昌治
- T E L 0859-33-7111
- F A X 0859-34-1580
- E-mail kubo.hiroko.sv@mail.hosp.go.jp





松江医療センター



病院長名	古和 久典
住 所	〒690-8556 島根県松江市上乃木5-8-31
電話番号	0852-21-6131
アクセス	山陰本線松江駅から市営バス・一畑バスで10分

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在				
内	呼	消	内	循	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻
0	6	0	0	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
泌	リ	ハ	ア	精	救急	病理	感	内	他										
0	0	0	0	0	0	0	0	0							16				

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在	
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計		
138	90	90	6				324		

□ 1日平均患者数	外来	76件	入院	255件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	273件	救急車	71件	ドクターヘリ	0件
□ 年間手術件数	総数	64件	全身麻酔	0件	ダビンチ	無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険					
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	4名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	2回（剖検数 2件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 0回 / 月平均	専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	—
2 年 次	—	—
3 年 次	—	常勤職員に準じる

研修概要

臨床研修

協力施設

□ 基幹病院名	松江生協病院
---------	--------

□ 研修の領域	呼吸器内科
---------	-------

研修の特徴

呼吸器センターの強みを生かした呼吸器疾患の診療について内科・外科とも研修できる内容としております。呼吸器内科外来診療、病棟で各種処置、気管支鏡検査などを通じて呼吸器専門医としての幅広い知識・技術習得が可能です。また、県内唯一の結核・抗酸菌症治療の専門施設であり、呼吸器専門医として必須であるこの領域の知識・技術の習得が可能です。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△																		

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リ	外	外	外	外	外	診	治
		△			○									
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
○														

□ その他特記事項

脳神経内科では、スタッフ全員が神経内科専門医として日々の診療や教育・研究に従事しています。とりわけ、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病、進行性核上性麻痺などの症例を多数経験でき、リハビリテーション、非がんの緩和ケアを含めた全人的医療の研修が可能です。教育研修の場を幅広く提供するとともに、種々の研究班に参加し、地域に信頼される医療を提供すべく取り組んでいます。

病院PR

当院の特色は、呼吸器を中心とする一般急性期医療と、医療と障がい福祉の両面を併せ持つ神経難病、筋ジストロフィー医療、重症心身障がい医療に大別されます。

一般医療については、「呼吸器病センター」として山陰地方の呼吸器病院の中心的存在であり、肺がん、肺気腫、気管支喘息、呼吸不全、結核・抗酸菌症などの呼吸器疾患の診療を主体としております。「CTによる肺がん検診」も県内初で15年前から取り組み、早期肺がんの発見に努めています。脳神経内科では、頭痛やめまい、しびれ、認知症を中心とする一般医療と、慢性疾患医療が中心です。神経難病領域においては、島根県の「難病診療分野別拠点病院（神経）」として、筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病、進行性核上性麻痺、多系統萎縮症など医学的、社会的に難しい疾患に対してリハビリテーションを含めた治療に積極的にあたっています。筋ジストロフィーにおいても治療・療育の場を提供し、社会のセーフティーネットとしての役割を果たしています。

■ 専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）

日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本神経学会専門医制度における教育施設、日本認知症学会専門医制度教育施設、呼吸療法医学会認定施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本頭痛学会准教育施設



研修担当

□ 呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

「呼吸器病センター」として地域の基幹病院の役割を果たしております。呼吸器内科では幅広い領域の呼吸器疾患を対象に診療しており、特に呼吸不全、結核・抗酸菌症の治療を得意としております。経験豊富で優秀なスタッフがそろっており、国内外の学会での参加・発表も積極的に行っております。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 管理課 人事担当

担当医師 呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

T E L 0852-21-6131

F A X 0852-27-1019

E-mail kadowaki.toru.tu@mail.hosp.go.jp





浜田医療センター



病院長名	栗栖 泰郎
住 所	〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
電話番号	0855-25-0505
アクセス	JR 山陰本線 浜田駅直結

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼	消	内	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮	放	麻
7	4	6	4	0	6	2	0	1	3	3	4	5	0	0	0	2	4	
泌	リ	ハ	ア	レ	精	神	救	急	病	理	感	内	他					計
2	1	0	0	1	1	0	1											57

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ス	結核	精神	感染症	療養	計
343					4		347

- 1日平均患者数 外来 461件 入院 264件 （2024年度実績）
□ 年間救急受入数 患者数 10,483件 救急車 3,248件 ドクターヘリ 30件
□ 年間手術件数 総数 2,146件 全身麻酔 1,060件 ダビンチ 無
□ 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数 32名

2026年1月1日現在

- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 1回（剖検数 0件）（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
□ 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	359,000 円/月	職員給与規程に基づき算出
2 年 次	389,000 円/月	職員給与規程に基づき算出
3 年 次	—	職員給与規程に基づき算出

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴

- ・先生方が優しく丁寧に教えてくださるので手技の上達は間違いなく県内随一
- ・プライマリーの対応から、高度医療まで幅広く体験が可能
- ・他の機構病院や周辺の大学病院と交流できる自由なプログラム

□ 研修終了後の進路

島根大学等

□ 研修医の出身大学

島根大学、鳥取大学他

□ 募集人数

7名

□ 試験日程

2026年8月（予定）

□ 選考方法

面接方式



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△	△			△	△	△				△	△	△	△	△		△		△	△

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	治
内	内	内	液	代	内	臓	リ	外	外	外	外	外	診	
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
								病						

□ その他特記事項

- ・県西部で唯一、三次救急を受け入れており、救急外来で軽症から重症の救急搬送まで対応
- ・様々な手技が学べ、疾患についても深く勉強可能

病院PR

当院は島根県西部の中核病院として、救命センター、緩和ケア、地域包括ケア、回復期リハビリ病棟と幅広く病床機能を有し、超急性期から回復期に至るまでの診療の流れの中で、臨床研修で求められるたくさんの症例を経験できます。希望に沿った独自のプログラムや、途中での選択科変更も可能です。中国地方4つの大学附属病院をはじめ、国立病院機構の病院が協力病院として登録されています。選択科として、これらの多くの病院にて研修可能です。優れた医療技術と知識を持った熱心な指導医のもとで、人の顔が見える研修が出来ます。ぜひ当院にお越しください。

臨床研修医の声

□ 研修医 日熊 友紀

当院の魅力は common な疾患から急性期の疾患まで幅広く学ぶことができるのと同時に、地域との繋がりを感じながら研修できるところだと思います。研修は指導医とマンツーマン体制なので、自分の考察や疑問点をすぐに指導医の先生とディスカッションできる雰囲気的魅力を感じています。また、定期的に研修医同士の勉強会があり、お互いに切磋琢磨し協力し合える環境だと思います。ぜひ一緒に浜田医療センターで研修しましょう。



研修担当より

□ 臨床研修室長 串崎 浩行

過疎化が進む島根県西部地域の中核病院で、ますます当院への医療集約化がすすんでいます。救命センター、緩和ケア、地域包括ケア、回復期リハビリ病棟と、超急性期から回復期までたくさんの症例を経験できます。奨学金の返還に地域での診療義務のある研修医も多くの科がありますので、将来の進路を決める上で有利な条件の病院です。見学いつでも受け付けていますのでどうぞお気軽にお越しください。



トピックス



当院は県西部で唯一、三次救急を受け入れており、救急外来で軽症から重症の救急搬送まで対応し、多くの経験を積むことができます。また、先生方が丁寧に指導して下さるので、勉強の面でも大病院に決して劣りません。様々な手技が学べ、疾患についても深く勉強できます。病院見学では、研修医が1対1で対応しますので、ぜひお越しください。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 事務部 管理課 庶務班長
担当医師 臨床研修室長 串崎 浩行
TEL 0855-25-0505
FAX 0855-28-7070
E-mail 503-kenshui@mail.hosp.go.jp





岡山医療センター



病院長名	柴山 卓夫
住 所	〒701-1192 岡山県岡山市北区田益1711-1
電話番号	086-294-9911
アクセス	JR 岡山駅から路線バス・岡山駅⑦番のりばより約30分

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼	消	内	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮	放	麻	計
11	9	8	13	3	4	12	2	3	2	12	8	10	5	4	5	7	10		
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感	他												
5	2	1	1	1	1	3	7	6	9	34	6	7	211						

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ス	結核	精神	感染症	療養	計
639							639

- 1日平均患者数 外来 782件 入院 459件 （2024年度実績）
□ 年間救急受入数 患者数 19,470件 救急車 3,677件 ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数 総数 6,173件 全身麻酔 3,295件 ダビンチ 有
□ 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 78名 2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 11回（剖検数 19件）（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
□ 当 直 臨床研修 4回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	371,400 円/月	411,400 円/月
2 年 次	386,700 円/月	426,700 円/月
3 年 次	—	442,300 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴
- ・臨床医療におけるプライマリケア対応能力を確実に習得することを目的としています。
 - ・内科6ヶ月（総合診療内科必修）、外科・小児科・産婦人科を各1ヶ月必修にしています。
 - ・救急3ヶ月の内1ヶ月を麻酔科とし、2年間で計10ヶ月の自由選択期間を設けています。
- 研修終了後の進路 当院専攻医又は他の機構病院への推薦、大学病院など
- 研修医の出身大学 岡山大学、香川大学、鳥取大学、山口大学、愛媛大学 等
- 募集人数 15名
- 試験日程 2026年7月下旬～2026年8月中旬
- 選考方法 筆記（小論文）試験、面接試験

CHECK!



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
○	△	△		○	△	△	△	△	△		△	△	△			△		○

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リッ	外	外	外	外	外	診	治

ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿
						鏡	泌	病

CHECK!



□ その他特記事項

「共に学び共に働く」ことをモットーに、病院全体で研修をバックアップします。院内設置の研修施設「ホスピタルスタジオ」「スキルアップラボ」は24時間利用できます。

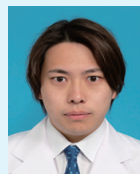
病院PR

私達の病院は、地域医療の中核を担う急性期総合病院です。地域がん診療連携拠点病院や地域災害拠点病院、地域医療支援病院、総合周産期母子医療センター、赤ちゃんにやさしい病院（ユニセフ、先進国で第1号）等、多くの指定、認定を受けており、全33診療科が高度な専門性を保ちつつ、密に連携し合うことで大きな総合力を有しています。コロナ禍においては、岡山県南東部の重点医療機関として陽性患者受け入れやワクチン対応など最大限の協力体制をとり、従来の医療のみならずどのような難題にも対応する地域で最も信頼される病院を目指しています。研修では、豊富な症例をもとに各領域トップレベルの専門医が指導します。

臨床研修医の声

□ 研修医 大澤 一輝

当院の臨床研修は、内科で選択可能である2科並行ローテーション、研修医同士での症例発表や論文の執筆を経験できる院内発表の2点が特徴です。診療科が充実しており、指導に熱い先生が多く、医師として成長できる研修環境です。気になる方は、ぜひ見学や実習を通して実際に雰囲気を感じてもらいたいです。我々研修医一同、お会いできることを心より楽しみにしております。



専攻医の声

□ 専攻医 岩淵 愛央

当院での内科専攻の特徴は、血液内科や脳神経内科など他病院では診察することの少ない領域の患者さんが入院されていることです。自身の専攻科ではない科でも様々な患者さんをみることで知識の幅が広がり、内科医として成長できる環境があります。またどの科の先生も非常に指導熱心です。専攻医一同お会いできることを楽しみにしています。



研修担当より

□ 教育研修部長 清水 順也

充実した33の診療科で、各科の熱心な指導医のもと、common disease から重症まで多彩な症例を経験し、チームで診療にあたりにながら基礎力をしっかり磨ける、医師としてのスタートにふさわしい研修病院です。専攻医やレジデントなど若手医師も多く活気にあふれており、症例報告会や論文執筆など多くの研修コンテンツを用意しています。2年間で必ず成長を実感できるよう、教育研修部を中心に全力でサポートします。



トピックス

当院の初期臨床研修は、院内での外来研修実施、PG-EPOCの導入、メンター制度、修了規定の明文化、年報掲載論文の医中誌への抄録掲載、GM-ITE®受検等、年々進化しています。従来からの2科同時並行ローテーション制度も継続中です。2024年施行の改正医療法も遵守しています。専門医研修については、内科・外科・総合診療科では基幹型のプログラム、その他の診療科では連携プログラムにより、臨床研修から一貫した研修が行えます。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 庶務班長 藤川 直也

担当医師 教育研修部長 清水 順也

TEL 086-294-9911

FAX 086-294-9255

E-mail 504-kenshubu@mail.hosp.go.jp



南岡山医療センター



病院長名	井上 美智子
住 所	〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話番号	086-482-1121
アクセス	「早島駅」下車後、早島町コミュニティバスで「南岡山医療センター」下車

病院概要

診療科・医師数																	2026年1月1日現在					
内	呼	消	内	循	脳	内	外	呼	消	心	脳	小	産	整	外	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻	計
0	2	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	17
泌	リ	ハ	ア	精	救急	病理	感	内	他													
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0													

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計	
230	120		25				375	

- 1日平均患者数 外来 154件 入院 264件 （2024年度実績）
- 年間救急受入数 患者数 868件 救急車 253件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 52件 全身麻酔 5件 ダビンチ 無
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 3名 2026年1月1日現在
- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 1回（剖検数 3件）（2024年度）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均
- 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	500,000 円/月
2 年 次	—	500,000 円/月
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

- ・独立行政法人国立病院機構福山医療センター
- ・岡山中央病院

□ 研修の領域

神経・筋疾患、重症心身障害児（者）、地域医療

□ 研修の特徴

- ・当院の特色を生かした地域医療を学ぶことができる。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
小	児	膚	神	婦	外	外	鼻	鼻	外	放	醉	理	査	急	外	ハ	診	
△	△																	

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リ	外	外	外	外	診	治
				糖			ウ						
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖					
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿					
						鏡	泌	病					

病院PR

当院は、神経・筋疾患の基幹施設、重症心身障害児（者）の専門医療施設に指定され、広い医療圏と豊富な医療実績を有しています。平成25年7月に新病棟が完成し電子カルテが導入されました。さらに、平成27年1月には新外来管理棟も完成し、6月にグランドオープンしました。岡山と倉敷の間に位置し、双方から通勤可能な距離にあります。JR 瀬戸大橋線早島駅や山陽本線中庄駅から近いだけでなく、早島インターチェンジにも近く、中国・四国の交通網の要に位置しています。臨床研修医、専攻医の皆様には、快適で充実した研修環境をご提供できます。

研修担当

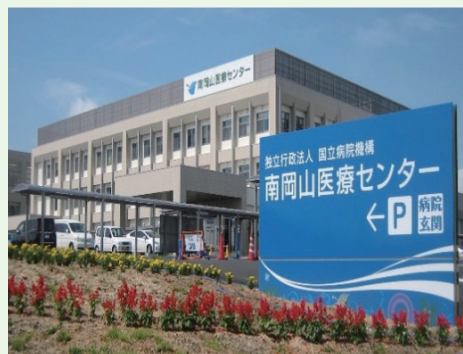
□ 統括診療部長 平野 淳

当院は、神経・筋疾患、重度心身障害児（者）など特色のある医療を手がけております。従って、神経内科、重症心身障害では指導医のもとで専門研修も行えるように体制を整えています。さらに、これらの分野に興味を持たれる先生方には臨床研究にも積極的に関わっていただくことが可能です。当院では是非研修してみませんか。



トピックス

当院は、神経・筋疾患、重度心身障害等の専門医療を行っており、また岡山大学等との医療連携、臨床研究、新薬等の臨床治験も行っております。これらの領域に関心のある方は、お気軽に見学、研修についてお問い合わせください。なお当院は風光明媚な丘の上に立地しており、快適な環境で見学・研修していただくことができます。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課

担当医師 統括診療部長 平野 淳

T E L 086-482-1121

F A X 086-482-3883

E-mail hirano.atsushi.ex@mail.hosp.go.jp



呉医療センター



病院長名	繁田 正信
住 所	〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
電話番号	0823-22-3111
アクセス	JR 呉線呉駅下車後、広島電鉄バス「国立病院前」で下車

病院概要

診療科・医師数																	2026年1月1日現在				
内	呼	消	内	循	脳	内	外	呼	外	心	外	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻
0	5	12	8	6	12	3	0	1	5	8	7	8	2	5	3	7	8				
泌	リ	ハ	ア	レ	精	神	救	急	病	理	感	内	血	腎	内	膠	乳	外	形	成	緩
6	2	0	7	2	5	1	3	4	5	3	3	2	1	5	149						

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在		
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計			
595				50			645			

□ 1日平均患者数	外来	901件	入院	494件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	11,821件	救急車	3,825件	ドクターヘリ	32件
□ 年間手術件数	総数	4,759件	全身麻酔	3,740件	ダビンチ	有
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用					
□ 福利厚生施設	宿 舎	有	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	60名	2026年1月1日現在	
□ 臨床病理検討会 (CPC) の実施状況	10回 (剖検数 6件)	(2024年度)	
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り (発表者のみ)		
□ 当 直	臨床研修 4回 / 月平均	専門研修	3回 / 月平均
□ 給与 (目安)	※当直手当等は別途支給		

	臨床研修	専門研修
1 年 次	361,520 円/月	417,090 円/月
2 年 次	361,520 円/月	417,090 円/月
3 年 次	—	417,090 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴	・ 高度な臨床レベルとバリエーション豊富な症例の経験が可能 ・ 質の高い ER 初期対応能力、レベルの高いプレゼン・ディスカッション能力が身につく ・ 充実している福利厚生と環境
□ 研修終了後の進路	広島大学の医局に入局後、県内の専門研修病院へ 他
□ 研修医の出身大学	広島大学、高知大学、熊本大学、大分大学、産業医科大学 等
□ 募集人数	15名
□ 試験日程	2026年7月22日（水）、28日（火）、 8月5日（水）のいずれかを受験
□ 選考方法	書類選考、面接



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）														
内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病
○	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△	○	△
救	急	形	外	リ	ハ	総								
△	△													
□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）														
消	内	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
○	○	○	○	○	○	○	○							
ア	感	老	腫	内	肝	内	内							
レ	染	年	内	外	臓	視	分							
			○		○	○	○							



□ その他特記事項

当院の臨床研修では研修医が医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることができるばかりでなく、研修医にとって選択性・自由度が高く、研修医自身の希望・個性に合わせた研修ができることを目的としています。

病院PR

- 1889年に創設された呉海軍病院を前身とし、現在は国立病院機構グループの中の大規模病院の一つとして、その中核を担っている
- ほぼすべての診療科を備える高度急性期医療機関で、各診療科が質の高い医療を行うと同時に科の枠を越えた連携がなされている
- 広島県南部地域（呉二次医療圏）で唯一の1～3次救急病院として Common Disease から最先端の医療までを提供するとともに、地域と一体となって回復期・慢性期を含めた一貫した医療を実現している
- 動物実験や本格的な基礎研究の設備が揃う臨床研究部が整備され、各分野の基礎・臨床研究や治験などを積極的に行っている
- 日本の道100選の「美術館通り」に面した閑静な場所で、屋上からは呉湾が一望できる

臨床研修医の声

□ 研修医 茂久田 洪

呉医療圏最大の中核病院なので、軽傷から超重症までさまざまな症例を診ることが出来ます。指導医と後期レジデントによる屋根瓦式の指導体制で、内視鏡やエコー等たくさんの手技も経験できます。ER で内科救急全般が診れることに加えて、専門性の高い血液、神経、膠原病内科も含むすべての内科診療科があるのも専門医取得を考えると大きなメリットです。



専攻医の声

□ 専攻医 小松 由樹子（内科・脳神経内科）

呉医療センター内科専門医プログラムは、最新医療技術と実践的な研修で、未来の内科医を育成します。熟練した指導医が多様な症例を通じて知識と技術を提供し、地域医療で活躍する専門医への成長をサポートします。医師としての成長とともに患者本位の医療を学び、地域社会に貢献できる力を涵養できます。また、各科指導医による症例レポートのチェックを行うなど J-Osler のサポート体制も充実しています。



研修担当より

□ 臨床研修センター部長 大下 智彦

当院での臨床研修目標は「自ら考える力を養い問題解決能力を身につけること」。
2年間の研修で救急に限らず、すべての診療分野でバランスのとれた質の高い初期対応能力が身につきます。
“超える” “道を広げる” という意味を持つ GO BEYOND の精神を胸に、今の自分を超える成長、そして将来への道のりを切り開くあなたの情熱をサポートします。



トピックス



年に2回開催している「呉クリニカルフォーラム」は臨床研修のレベルアップを目的としたものです。臨床研修医達が自ら経験した症例を工夫して発表します。指導医からの熱心な指導の成果もあり、成長ぶりがうかがえる会です。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口	臨床研修（臨床研修センター部）、専門研修（専攻医担当）
担当医師	臨床研修センター部長 大下 智彦
T E L	0823-22-3111
F A X	0823-21-0478
E-mail	臨床研修 (506-rinshokenshu@mail.hosp.go.jp)、 専門研修 (506-senmon@mail.hosp.go.jp)





福山医療センター



病院長名	稲垣 優
住 所	〒720-8520 広島県福山市沖野上町4-14-17
電話番号	084-922-0001
アクセス	山陽本線 福山駅から 中国バス「福山医療センター」で下車

病院概要

診療科・医師数																	2026年1月1日現在			
内	呼	消	内	循	脳	外	呼	消	心	外	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻
7	5	5	2	0	2	2	9	0	0	0	7	4	6	0	2	0	5	7		
泌	リ	ハ	ア	精	神	救	急	病	理	感	乳	外	形	外	小					
3	0	0	1	0	2	1	2	1	2						計					
															75					

病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計	
350							350	

- 1日平均患者数** 外来 672件 入院 288件 (2024年度実績)
年間救急受入数 患者数 3,903件 救急車 2,117件 ドクターヘリ 0件
年間手術件数 総数 3,483件 全身麻酔 2,873件 ダビンチ 有
社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数** 44名 2026年1月1日現在
臨床病理検討会（CPC）の実施状況 1回（剖検数 5件） (2024年度)
学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
当 直 臨床研修 3回 / 月平均 専門研修 2回 / 月平均
給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	385,900 円/月	421,000 円/月
2 年 次	403,500 円/月	451,000 円/月
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴**
 - ・自由
 - ・自主性
 - ・実践重視**研修終了後の進路** 福山医療センター 岡山大学病院 など
研修医の出身大学 岡山大学 鳥取大学 島根大学 近畿大学 など
募集人数 8名
試験日程 当院 HP でご確認ください
選考方法 小論文、面接



専門研修

□ 基本領域 (○基幹施設 △連携施設)																		
内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△			△	△	△		△	△		△	△				△		○

サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）																
消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放		
○	○	○						○	△		○	△	○	○		
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖								
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿								
	○		○		○	○		△								



病院PR

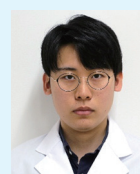
当院は、がん、成育医療、骨・運動器疾患の専門施設であるとともに、地域周産期母子医療センター、エイズ拠点病院、地域医療支援病院、広島県指定がん診療連携拠点病院等の認定施設です。特に地域医療連携部を中心として地域の医療機関との連携・患者情報の共有による一貫した医療を提供しています。研修ではそれぞれの領域の専門医から最新の医療を学ぶことにより、豊富で幅広い知識を習得し様々な経験を積むことが出来ます。初期臨床研修医及び専攻医を病院全体で支えます。

- 専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）**
 内科専門研修基幹施設、外科専門医制度修練施設、小児科専門医研修施設、泌尿器科専門医教育施設等

臨床研修医の声

臨床研修医 藤本 詠太郎

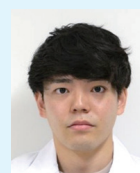
当院では、研修医の自主性を重視した研修プログラムとなっています。必修以外のローテーションは自由に組むことができ、自分が学びたい診療科を学びただけ研修できます。上級医の指導は各科で手厚く、手技なども積極的に経験することができます。救急外来では、研修医が初期対応を行い、上級医がサポートする体制となっており、救急対応の力もしっかりつけることができます。また、当直の日程は研修医間で話し合っているため、私生活も充実させやすいと感じています。



専攻医の声

専攻医 石井 康道

泌尿器科専攻医として、悪性腫瘍から排尿障害や尿路感染症、救急疾患まで幅広い症例を経験できています。指導医の先生方とも距離が近く相談しやすく、日常診療や手術に主体的に関わることができています。実臨床を通して成長できる環境で、充実した研修をすることができています。



研修担当より

研修責任者 豊川 達也

福山医療センターの研修プログラムは、研修医の自主性を尊重し、必修以外は本人が自由にローテーションを決めます。研修しているうちに、希望が変わったときにも柔軟に対応できるようにしています。自由の中でこそ自分を律するものが生まれてくる、すなわち自主性に任せることで責任感も芽生えると考えています。



トピックス



切磋琢磨して楽しみながら充実した研修をおこなっています。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口** 管理課 臨床研修医採用担当
担当医師 教育・研修部長 豊川 達也
T E L 084-922-0001
F A X 084-931-3969
E-mail 507-HP@mail.hosp.go.jp





広島西医療センター



病院長名	新甲 靖
住 所	〒739-0696 広島県大竹市玖波4-1-1
電話番号	0827-57-7151
アクセス	JR 山陽本線 玖波駅下車 徒歩約7分

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在			
内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
2	0	3	2	5	4	0	0	0	0	3	2	4	0	0	1	2	1	
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他											
2	0	0	0	0	1	0	12						44					

□ 病床数（医療法病床数）							2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち筋シス	結核	精神	感染症	療養	計
200	120	120					440

□ 1日平均患者数	外来	353件	入院	392件	(2024年度実績)
□ 年間救急受入数	患者数	2,783件	救急車	1,330件	ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数	総数	1,161件	全身麻酔	312件	ダビンチ 無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用				
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室 有

研修体制

□ 指導医数	38名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	5回（剖検数 3件）	(2024年度)
□ 学会・研究会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 5回 / 月平均	専門研修 5回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	373,300 円/月	411,200 円/月
2 年 次	404,000 円/月	477,700 円/月
3 年 次	—	544,200 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴	がん、造血管疾患、神経筋疾患、成育などの専門分野を中心に、地域医療の中核施設であることを生かした研修システムを制定しています。これにより、修得手技や目標経験症例数が明確になり、目指すべき医師像に沿った研修を受ける事が出来ます。
□ 研修終了後の進路	当院及び他の国立病院機構病院での研修が可能です。
□ 研修医の出身大学	広島大学、大分大学、名古屋市立大学、山梨大学など
□ 募集人数	5名
□ 試験日程	2026年8月初旬から実施予定 (詳細は当院 HP 参照)
□ 選考方法	面接



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△	△		△		△			△		△							△

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠原病	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
△	△		△		△	△		△					△	
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						
						△								

□ その他特記事項

当院では他院で経験することが難しい、白血病をはじめとした血液疾患や、筋萎縮性側索硬化症などの神経疾患が経験できます。

病院PR

当院は広島県の西端に位置している中核医療施設です。山口県東部からの患者さんも多く急性期医療・がん医療に加え、近隣にない血液疾患、神経・筋疾患（筋ジストロフィー）や特に肩の整形外科手術、重症心身障害、成育医療に特徴があります。検査治療機器としてはCT、MRI、PET-CT、RI、マンモグラフィ、体外衝撃波結石破碎装置、人工透析機器等を有し、医師会との良好な関係を軸に地域から求められる医療を実践しています。

臨床研修医の声

□ 研修医 赤川 友基

当院は、広島西圏域の中核病院として、研修医が幅広く専門性の高い症例にしっかり関われる環境があります。また、大きすぎない規模だからこそ指導医との距離が近く、いつでも声をかけてくれるスタッフなど職種を越えて研修医を支えてくれる雰囲気も魅力です。一緒に「ここで研修して良かった」と思える時間を過ごしましょう！



研修担当より

□ 総合診療科医長 大谷 裕一郎

プライマリ・ケアを実践し、基本的診療能力に磨きをかけながら患者目線で診療にあたることのできる医療者となれるように学びましょう。当院は一般的な内科、外科の診療に加え、血液疾患、神経筋疾患、腎疾患の診療が充実した数少ない病院のひとつで、指導医陣も充実しており経験、実力、人格的に申し分のない方々です。このことは間違いなく10年後20年後、皆様の臨床能力に深みを与えることになると自負しています。温かい雰囲気の中で、プライベートも充実した研修を望まれる方をお待ちしています。



トピックス



大竹市は広島県南西部、山口県との県境に位置しています。JR 山陽本線、山陽自動車道（広島岩国道路）のインターチェンジなどがあり、交通の便が良く、気候は年間を通じて温暖です。瀬戸内海に面した沿岸部には石油コンビナート、化学繊維など瀬戸内地域で有数の臨海工業地区が、内陸部には三倉岳や蛇喰磐などの雄大な自然があり、キャンプや川遊びを楽しむことができます。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口	広島西医療センター医局
担当医師	総合診療科医長 大谷 裕一郎
T E L	0827-57-7151
F A X	0827-57-3681
E-mail	otani.yuichiro.yg@mail.hosp.go.jp





東広島医療センター



病院長名	柴田 諭
住 所	〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513
電話番号	082-423-2176
アクセス	山陽本線 寺家駅 JR バス「東広島医療センター」で下車

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	腎内	血内	外	呼外	消外	心外	乳外	脳外	小児	産婦	整外	耳鼻	皮膚
3	6	7	7	4	3	1	2	4	8	2	3	4	8	8	6	3	2
泌	麻酔	放	精神	病理	臨床												
4	8	4	1	1	1												計
																	100

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ス	結核	精神	感染症	療養	計
381			16		4		401

- 1日平均患者数 外来 633件 入院 300件 （2024年度実績）
- 年間救急受入数 患者数 9,449件 救急車 4,309件 ドクターヘリ 14件
- 年間手術件数 総数 3,273件 全身麻酔 2,233件 ダビンチ 有
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 44名 2026年1月1日現在
- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 3回（剖検数 8件） （2024年度）
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 臨床研修 4回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均
- 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	450,000 円/月	500,000 円/月
2 年 次	450,000 円/月	500,000 円/月
3 年 次	—	500,000 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

- 研修の特徴
- ・ 自由度の高いプログラム
 - ・ 地域の中核病院であり、様々な症例が集まる
 - ・ 循環器、呼吸器、神経、消化器については希望に応じて臓器別の研修も可能
- 研修終了後の進路 大学病院 他
- 研修医の出身大学 広島大学、島根大学、川崎医科大学、山形大学、宮崎大学、産業医科大学
- 募集人数 9名
- 試験日程 2026年8月初旬
- 選考方法 書類、面接及び適性試験



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△		△	△	△		△	△	△	△	△	△					

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠原	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○	○	○	△	○	○	○		○	○	△		○	△	△
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						
				△	○			○						



病院PR

- 1) 地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、地域周産期母子医療センターとして地域医療の中核的役割を担い、高度で専門的な医療を行っています。
- 2) がん疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患について、専門的な医療、臨床研究、教育研修及び情報発信を行っています。
- 3) 救急輪番（二次救急）に参加し、三次的救急患者も積極的に受け入れています。

臨床研修医の声

□ 研修医 谷 菜穂

当院ではローテーションを自ら選択でき、将来の進路希望に沿った研修を行うことができます。地域の最後の砦として小児から高齢者まで幅広い重症度の症例を経験でき、手技の機会も豊富にあります。医局内に研修医ブースがあり、上級医にすぐ相談できる温かく風通しの良い環境も魅力の一つです。ぜひ一度見学にお越しください！



専攻医の声

□ 専攻医 湯浅 拓哉

当院の魅力は、各科の垣根が低い点にあります。相談しやすくどんなことでも優しく教えてくれる他科の先生という存在が、どれほどありがたいかは推して知るべしです。私は決して優秀な医師ではありませんので日々実感、感謝しております。夜間救急では walk-in 症例を担当し、救急搬送患者は上級医の先生のお手伝いをします。他科の症例に触れることができる点も魅力です。



研修担当より

□ 副院長 豊田 和広

当院は広島中央医療圏の急性期中核施設で、アットホームな雰囲気でもチーム医療が展開され、一般的な疾病から高度な医療が必要な疾患まで様々な臨床研修が可能です。研修医の期間は、将来の医師像を築く上で重要です。ただ症例をこなすのではなく、情熱にあふれる先輩の下で各々の症例から学びを得る大切さを経験しましょう。



トピックス

当院初期臨床研修医1名につき年間60万円の初期臨床研修奨励金が、東広島市より交付されています。交付される奨励金は2年間で120万円となり、初期臨床研修医あてに直接交付されます。東広島市からの奨励金ですので、当院の初期臨床研修医が、いかに地域医療で医師として必要とされ、期待されているかとの自覚も感じることが出来るのではないのでしょうか。交付された奨励金を、初期臨床研修に必要な書籍購入や学会への出張旅費等に充ていただき、当院における初期臨床研修をより有意義なものとしていただきたいと思います。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課 庶務班長

担当医師 副院長 豊田 和広

TEL 082-423-2176

FAX 082-422-4675

E-mail morioka.mariko.zt@mail.hosp.go.jp





賀茂精神医療センター



病院長名	山口 博之
住 所	〒739-2693 広島県東広島市黒瀬町南方92
電話番号	0823-82-3000
アクセス	JR 山陽本線西条駅からバス30分

病院概要

診療科・医師数														2026年1月1日現在			
内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										
0	0	0	9	0	0	0	1						12				

□ 病床数（医療法病床数）							2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち部ジス	結核	精神	感染症	療養	計
	100			312			412

□ 1日平均患者数	外来	52件	入院	280件	(2024年度実績)
□ 年間救急受入数	患者数	27件	救急車	7件	ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数	総数	0件	全身麻酔	0件	ダビンチ 無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用				
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数	4名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	0回（剖検数 0件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 0回 / 月平均	専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	—
2 年 次	—	—
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名
 - ・ 広島大学病院
 - ・ 国立病院機構東広島医療センター
 - ・ 国立病院機構広島西医療センター

- 研修の領域
 - 精神科、地域保健

専門研修

- 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
			△															

- サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	腸リフ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						

病院PR

当院は理念である『共に生きる』社会の実現を目指す」に則り、本来あるべき精神医療とは何かを共に考え、実践していくことを目標としています。診療、臨床研究、教育研修、情報発信を柱とする精神科専門医療・政策医療を担います。

- 急性期精神科治療（精神科救急指定、急性期治療病棟設置）
- 精神科リハビリテーション（精神科作業療法、精神科デイケア、訪問看護）
- 重症心身障害児・者（強度行動障害をとまなう）医療
- 医療観察法に基づく指定入院期間として、司法精神医学及び精神医療への貢献
- 専門外来の設置（ストレス・うつ・ものわすれ・発達・セカンドオピニオン外来）

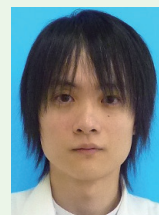
■専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）

精神保健指定医、日本精神神経学会認定精神科専門医

研修担当

□ 副院長 田中 真二郎

当院の指導医は、精神医療一般に加え各専門分野の知識経験も豊富な人材が多く、専門研修においても満足な研修が提供できと思っています。また、広島県では広島大学病院を中心に総合病院の精神科や民間の精神科病院、診療所などが研修ネットワークをつくり連携していくことになっており、当院も参加しています。精神科医を目指す方の当院への応募をお待ちしております。



トピックス



2012年9月に、1階50床、2階50床、各階観察室を含め14床の個室を有する重症心身障害児（者）病棟整備が完了。

2013年2月には、1階作業療法棟及びデイケア棟を含む管理部門、2階急性期治療病棟50床、3階閉鎖病棟60床、4階開放病棟60床、各階の保護室を含め20～22床の個室を有する精神科病棟整備が完了。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 管理課 庶務係長 辻 叶子

担当医師 副院長 田中 真二郎

T E L 0823-82-3000

F A X 0823-82-7352

E-mail tsuji.kanako.tf@mail.hosp.go.jp





関門医療センター



病院長名	吉野 茂文
住 所	〒752-8510 山口県下関市長府外浦町1-1
電話番号	083-241-1199
アクセス	サンデン交通「市立美術館前」下車徒歩2分

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼	消	内	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮	放	麻
4	0	4	4	3	7	0	0	1	3	2	1	6	1	0	0	3	5	
泌	リ	ハ	ア	精	救	病	感	内	他									
2	1	0	1	0	1	0	2											計
																		51

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計
400							400

□ 1日平均患者数 外来 520件 入院 262件 (2024年度実績)

□ 年間救急受入数 患者数 7,410件 救急車 3,383件 ドクターヘリ 5件

□ 年間手術件数 総数 1,981件 全身麻酔 1,497件 ダビンチ 無

□ 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用

□ 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 無 病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数 37名

2026年1月1日現在

□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 0回（剖検数 0件） (2024年度)

□ 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）

□ 当 直 臨床研修 5回 / 月平均 専門研修 5回 / 月平均

□ 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	361,000 円/月	700,000 円/月
2 年 次	382,000 円/月	700,000 円/月
3 年 次	—	700,000 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴

救急医療と総合診療（一般外来）を行う場所が一つの部屋の中にあり、機能的です。
しかも救急患者、ウォークインの患者とともに研修医がファーストタッチで診療します。
2年目の選択研修では、多数の協力病院で研修できます（沖縄、香取、沖永良部など、3か月）。

□ 研修終了後の進路

出身校の大学病院や関東、関西、山口、福岡の基幹病院、厚労省など

□ 研修医の出身大学

山口大学、九州大学、産業医科大学、福岡大学、他全国多数の大学

□ 募集人数

15名

□ 試験日程

随時面接を実施
（ビデオによるオンライン面接可）

□ 選考方法

履歴書の自己アピール、
面接による



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△	△		△	△	△	△		△	△		△	△	△	△		△			

□ サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
△	△		△		△		△	△	△	△	△	△		
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
	△						△							

病院PR

本院は本州の西端である下関市にあります。下関2次医療圏の基幹病院のひとつとして、救急医療から各科専門領域の診療まで幅広い役割を担っております。救急医療領域では3次救急センターに指定されており、積極的に取り組んでおります。また、地域医療支援病院に承認されており、地域の皆様から信頼される病院作りを目指しています。

臨床研修においては、各診療科で多くの症例を経験することができます。また、2年目には自由度の高い研修プログラムを組むことが可能で、ニーズに沿った満足度の高い研修を行うことができます。

臨床研修医の声

□ 研修医 荒井 大輝

当院では救急車、walk-in で来られた方全員に対し、原則研修医がファーストタッチを行うため、内科・外科に関わらず様々な疾患の初療を経験できることが当院の強みだと思います。また、2年目の選択科ではWHO本部、離島診療、県内・県外の研修協力施設等で研修することが可能です。

研修医の人数が多く、お互い協力しながら仕事以外でも充実した研修医生活を過ごすことができます。ぜひ一度当院の雰囲気を見学に来てください！



研修担当より

□ 研修部長 戒能 聖治

当院は卒後臨床研修評価機構の認定を受けています。当院では研修医が総合診療および救急でファーストタッチから診療を担当し、指導医とディスカッションを行い診断・治療を進めています。また、救急症例検討会等の種々のカンファレンスの実施により真に“身になる”研修を積むことができます。
バランスよく配置された各診療科の指導医が積極的に指導しています。また、多くの研修協力施設で臨床経験を積むことができます。



トピックス



関門医療センターは関門海峡に面し、病棟の眼下には圧倒的な景色が広がっています。また、近隣には長府城下町の歴史的遺産が点在しています。環境に恵まれた中での研修は充実したものになると自負しています。ぜひ、一度見学にお越しください。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 管理課 職員係長

担当医師 研修部長 戒能 聖治

TEL 083-241-1199

FAX 083-241-1301

E-mail 511-KanmonKenshuui@mail.hosp.go.jp





山口宇部医療センター



病院長名	田中 伸幸
住 所	〒755-0241 山口県宇部市東岐波685
電話番号	0836-58-2300
アクセス	JR 新山口駅前から車で約20分/「岐波（ぎわ）駅」下車徒歩20分

病院概要

□診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	12	0	0	0	1	2	1	0	0	4	0	0	0	0	0	3	0
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										
0	0	0	1	0	1	0	2										28

□病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ジス	結核	精神	感染症	療養	計
215	120		30				365

□1日平均患者数 外来 111件 入院 253件 （2024年度実績）

□年間救急受入数 患者数 517件 救急車 294件 ドクターヘリ 0件

□年間手術件数 総数 238件 全身麻酔 202件 ダビンチ 無

□社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用

□福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

□指導医数 15名

2026年1月1日現在

□臨床病理検討会（CPC）の実施状況 1回（剖検数 0件）（2024年度）

□学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）

□当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均

□給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	323,840 円/月	357,120 円/月
2 年 次	323,840 円/月	357,120 円/月
3 年 次	—	357,120 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□基幹病院名

岡山大学病院、山口大学病院、山口県立総合医療センター、
関門医療センター、徳山中央病院、済生会山口総合病院

□研修の領域

呼吸器内科、呼吸器外科

□研修の特徴

肺がん、非がん呼吸器疾患、障害児（者）症例に多く接するプログラムを
設定している。一般的な種々な呼吸器疾患の診療に携わり、胸部疾患診断に必要な問診、
身体所見、血液検査所見、胸部の聴診、胸部単純 X 線写真、胸部 CT、肺
機能の基礎を身につけ、ガイドラインやエビデンスに基づく標準的治療を
理解する。

専門研修

□基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△														

□サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	腸リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		△							△					
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						

病院PR

当センターは、周防灘を一望できる外観を持つ、がん・呼吸器疾患を専門領域とする病院です。県全域に対するがん診療連携推進病院（肺がん）と山口県から指定されています。

1. 呼吸器疾患に対する高度先駆的医療の実施
2. 重症心身障害児（者）に対する専門医療の実施
3. 緩和病棟を備えたがん医療の実施
4. その他の医療
5. 教育研修活動の開催
6. 各施設への情報発信
7. 臨床研究の実施

研修担当

□副院長 近森 研一

肺がん診療について、画像診断、手術、抗がん剤治療、放射線治療すべてを各領域の専門医が指導します。
緩和医療については癌腫を問わず、緩和医療の基本的な考え方、症状の緩和の方法、心理的なサポート、チーム医療の重要性を現場で学べます。
呼吸器疾患は喘息、間質性肺炎、呼吸器不全などを多くの症例を通して学ぶことが出来ます。



トピックス

山口宇部医療センターは、緑豊かな自然に囲まれた療養環境のもと、「がん・呼吸器疾患・重症心身障害児医療」を柱とする高度専門医療を提供しています。
肺がん領域では「特定領域がん診療連携推進病院」の指定を受け、年間約280件と県内最多の診療実績を誇ります。
呼吸器分野に特化した体制と緩和ケア病棟を備え、診断から治療、療養支援まで一貫した質の高い医療を実践しています。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課 井本 賢弘

担当医師 副院長 近森 研一

TEL 0836-58-2300

FAX 0836-58-5219

E-mail 512-kanrika@mail.hosp.go.jp





岩国医療センター



病院長名	田中屋 宏爾
住 所	〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1-1-1
電話番号	0827-34-1000
アクセス	「岩国駅」または「南岩国駅」下車し、バスまたはタクシーで当院へ

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼	消	内	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮	放	麻
2	5	7	9	0	11	2	0	2	6	6	3	6	0	2	1	3	6	
泌	リ	ハ	ア	精	救	病	感	他										
3	0	0	0	2	2	0	1											79

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ス	結核	精神	感染症	療養	計
484							484

- 1日平均患者数 外来 516件 入院 368件 （2024年度実績）
□ 年間救急受入数 患者数 14,759件 救急車 5,103件 ドクターヘリ 26件
□ 年間手術件数 総数 4,079件 全身麻酔 2,903件 ダビンチ 有
□ 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数 36名

2026年1月1日現在

- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 6回（剖検数 6件） （2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
□ 当 直 臨床研修 4回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	422,000 円/月	456,000 円/月
2 年 次	422,000 円/月	456,000 円/月
3 年 次	—	456,000 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴

- ・救急外来では2年間で約1000例の症例をファーストタッチで経験する
- ・米軍基地からの患者さんの受診があり、「英語を用いた診療」がある
- ・病棟、外来、検査、手術室等あらゆる場面で「実際に手を動かして診療」

□ 研修終了後の進路

当院レジデント、大学病院 他

□ 研修医の出身大学

岡山大学、山口大学、大分大学、高知大学、東京慈恵会医科大学、徳島大学

□ 募集人数

12名

□ 試験日程

2026年7月中旬～8月下旬
(決定次第 HP にて通知)

□ 選考方法

小論文、面接



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
○	△	△		△	△	△		△	△	△	△	△	△	△		△	△		○

□ サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
○	○	○						△	△	△	△	△	△	△
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
					△	○		病						



病院PR

当院は、山口県東部地域における中核的医療施設であり、第三次救命救急センターとして二次医療圏のみならず広島県西部地域をも含めた広域から年間4,900件の救急搬送を受け入れています。循環器疾患に対しては二次医療圏で唯一、循環器科と心臓血管外科を併せ持つ医療機関として高度医療に当たるとともに、がんに対しては、早期がんに対する低侵襲、縮小手術を実施、進行がんに対しては拡大手術に加えて化学療法、放射線療法等集学的治療を行い、予後の改善に努めています。加えて成育医療に対し、山口県東部及び広島県西部地域で唯一の NICU を有する施設で、広域を対象とした新生児重症救急患者の診療を担当しています。

臨床研修医の声

□ 研修医 萬木 駿

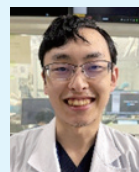
岩国医療センターで臨床研修をしております研修医の萬木駿です。上級医の先生方、他のコメディカルの方々と日々ご指導していただきながら、充実した毎日を過ごしています。当院は実践重視の病院です。望むだけスキルアップの機会をいただけます！さらに米軍基地からの患者も多く診察するため、英語での診療能力のスキルアップをしたい方におすすめの病院です。是非一度当院へお越しください！



専攻医の声

□ 専攻医 湖山 恵多

サブスペシャリティコース循環器内科で専門研修中です。地域の特性上、救急患者を一手に引き受けている病院なので、循環器内科の症例はもちろん、循環器内科以外の疾患を多数経験することができて、大変勉強になっています。他科への相談がしやすく、コメディカルの方達も優しく、医療リソースも十分だと感じています。専門研修病院としておすすめです。



研修担当より

□ 副院長 藤本 剛

山口東部地域の基幹病院として救急医療のみならず日常診療は多忙を極めています。研修医の意欲と向上心に支えられ指導に当たる毎日です。当院は「実践重視」を何よりも大事に掲げています。「医師としての責任感」は本当に患者さんに手を触れて考えると自ずと付いてきます。当院での臨床研修は将来きっと役に立つと信じています。ぜひ、1度見学に来て下さい。



トピックス



臨床研修を行うのに「ちょうどよいサイズ」の病院です。実際に「手を出して研修」できます。「熱心に指導する上級医」がたくさんいます。「米国人の診療」を多数しています。「近くに空港があり、東京とのアクセスは良好」です。「当直翌日は、朝から帰宅休息」が義務付けられています。「安心して研修」が出来ます。必ず「臨床能力」がつかめます。是非、見学に来て下さい。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 管理課 庶務係
担当医師 副院長 藤本 剛
TEL 0827-34-1000
FAX 0827-35-5600
E-mail 513-sy01@mail.hosp.go.jp





柳井医療センター



病院長名	宮地 隆史
住 所	〒742-1352 山口県柳井市伊保庄95
電話番号	0820-27-0211
アクセス	柳井駅からバスまたは自家用車で10分

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在			
内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔	
1	0	0	0	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他										計	
0	0	0	0	0	0	0	0										15	

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽ジス	結核	精神	感染症	療養	計	
204	76						280	

□ 1日平均患者数	外来	60件	入院	265件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	180件	救急車	120件	ドクターヘリ	0件
□ 年間手術件数	総数	97件	全身麻酔	38件	ダビンチ	無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用					
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	6名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	0回（剖検数 0件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 3回 / 月平均	専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	380,000 円/月	420,000 円/月
2 年 次	400,000 円/月	440,000 円/月
3 年 次	—	460,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・ 国立病院機構岩国医療センター
・ 広島大学病院
・ 山口大学附属病院

□ 研修の領域
脳神経内科、内科

□ 研修の特徴
神経疾患の問診、神経診察、鑑別診断、初期治療の習得ができます。
パーキンソン病、アルツハイマー病などの神経変性疾患を中心に多発性硬化症などの免疫性神経疾患、筋疾患、頭痛、てんかんなどの研修が可能です。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△														

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠原	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
						○								
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						

□ その他特記事項

脳神経内科では神経内科専門医による研修を行います。特に筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病などの症例を多数経験できます。外科では、消化器外科専門医・指導医のもと、下部消化器外科を中心とした一般、消化器外科治療（内視鏡下手術を含む）及びがん化学療法、血液浄化療法も行っております。

病院PR

当院は主として神経筋難病を中心とした脳神経内科領域の専門病院で患者は山口県のみならず広島県からも多数紹介頂いております。療養介護病棟では重度心身障害児（者）および神経筋難病患者の医療・ケアも行っています。人工呼吸器が常に60台前後稼働して呼吸器管理の研修も可能です。さらに、平成27年8月山口県より認知症疾患医療センターに指定され柳井医療圏の認知症医療、ケアの中心的な病院でもあります。外科領域では一般的な消化器外科のみならず救急治療（腹部内臓疾患）、血液及び腹膜透析治療を行っております。

また、令和6年3月山口県より難病診療分野別拠点病院（神経・筋疾患）に指定されました。神経・筋疾患の高度な専門医療の提供や地域連携及び治療継続支援を行います。

研修担当

□ 副院長 今村 栄次

当センターは眼前に瀬戸内海が広がり、対岸には周防大島を展望できる場所に広大な敷地をもち、穏やかな環境で医療ができます。経験豊かな脳神経内科専門医の指導により充実した全人的医療を経験できると思います。

臨床研修・専門研修の時期は「医師」として、「人」として、とても重要な期間だと思います。ぜひ、当センターで医師としてのスキルアップをするとともに、人として深みのある魅力的な医師に育っていただきたいと思います。



トピックス



院内宿舎



遊歩道

当院は山口県東南部にある柳井市にあります。風光明媚で温暖な瀬戸内海気候に恵まれた環境です。職員数は300人程度と国立病院機構としては小規模ですが、その分職員同士の意思疎通ができるアットホームな雰囲気です。敷地内にある宿舎はオール電化でサンルームがついております。宿舎から眺める海の光を浴びた朝日を見るのは格別です。

ぜひ、当院で一緒に働きませんか。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口	事務部 管理課 庶務班
担当医師	副院長 今村 栄次
T E L	0820-27-0211
F A X	0820-27-1003
E-mail	514-kanri@mail.hosp.go.jp





とくしま医療センター 東病院



病院長名	近藤 秀治
住 所	〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1
電話番号	088-672-1171
アクセス	JR 高徳線「板野駅」下車 → 南へ徒歩約10分

病院概要

診療科・医師数																2026年1月1日現在				
内	呼	消	内	循	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	外	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻
2	2	3	5	0	3	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	3	0	
泌	リ	ハ	ア	レ	精	神	救	急	病	理	感	内	他							
0	0	0	0	0	0	0	0	0							25					

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在	
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計		
131	156		20				307		

□ 1日平均患者数	外来	119件	入院	213件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	762件	救急車	340件	ドクターヘリ	0件
□ 年間手術件数	総数	170件	全身麻酔	128件	ダビンチ	無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用					
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	19名	2026年1月1日現在	
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	0回（剖検数 0件）	（2024年度）	
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）		
□ 当 直	臨床研修	0回 / 月平均	専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給		

	臨床研修	専門研修
1 年 次	370,000 円/月	370,000 円/月
2 年 次	370,000 円/月	370,000 円/月
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名	徳島大学病院
□ 研修の領域	徳島大学病院
□ 研修の特徴	

当院は徳島大学病院の協力型病院である。
当院での1年は、内科（循環器、消化器、呼吸器、糖尿病、透析および一般内科）6カ月間、外科（消化器、胸部、乳腺、甲状腺および一般外科）3カ月間、残りの3カ月間は放射線科または整形外科で研修をおこなう。放射線科は主にCT・MRIなどの画像診断、造影検査等を研修する。整形外科は、整形外科一般とリハビリなどの研修をおこなう。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△	△			△		△					△							

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	治
△	△	△	△	△				△	△				△	
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
						鏡	泌	病						
														△

□ その他特記事項

基幹施設の研修プログラムに沿った専門領域研修が可能である。

病院PR

当院は徳島市近郊の元国立療養所であり、広々とした敷地、建物の中で医療環境に恵まれ、比較的ゆったりとした診療が可能です。
地域医療との連携も強く、2次救急などの急性期疾患にも広く対応しています。
循環器内科、糖尿病関連、消化器系（内科）、呼吸器系（内科、外科）、血液透析、小児科、放射線科（画像診断）に関する指導医体制と医療機器なども充実しています。

■ 専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）

日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医関連認定施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設、日本医学放射線学会放射線科専門医訓練機関、日本高血圧学会専門医認定施設、日本肝臓学会肝臓専門医関連認定施設

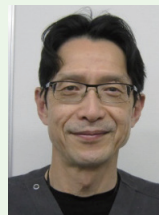
研修担当

□ 副院長 北市 隆

地域に根ざした医療を体験する中でプライマリーケアの修得に加えて、医師として、また社会人としての人間性を育てることに配慮して研修できるようにしている。

特に当院の特徴として、結核医療や重症心身障害児・者に対する障害者医療を学べる徳島県内では数少ない施設となっている。

研修は、内科系に関しては各種超音波検査や内視鏡検査（消化器、呼吸器）などの検査技術取得をはじめ、放射線科でのCT・MRIなどの読影研修により診断技能向上を図ることができる。また、主として common disease の診断・治療・管理、2次救急での急性期医療を学ぶことができる。



トピックス

平成30年度にCT/MRIを最新機器に更新し、稼働中です。
当院では、患者の疾患のみならず社会的背景にも配慮した幅広い診療のできる臨床医の育成を目指し、スタッフ一同誠意をこめて指導を行っています。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課

担当医師 副院長 北市 隆

T E L 088-672-1171

F A X 088-672-3809

E-mail 515-kanrika@mail.hosp.go.jp





とくしま医療センター 西病院



病院長名	近藤 秀治
住 所	〒776-8585 徳島県吉野川市鴨島町敷地1354
電話番号	0883-24-2161
アクセス	JR 鴨島駅からタクシーで7分

病院概要

□ 診療科・医師数																2026年1月1日現在	
内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3	0	1	0	6	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他									計	
0	1	0	0	0	0	0	0									16	

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在	
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計		
116		120					236		

- 1日平均患者数 外来 65件 入院 197件 (2024年度実績)
- 年間救急受入数 患者数 4件 救急車 4件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 29件 全身麻酔 0件 ダビピンチ 無
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 5名 2026年1月1日現在
- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 0回（剖検数 0件） (2024年度)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 3回 / 月平均
- 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	302,400 円/月	326,900 円/月
2 年 次	302,400 円/月	344,700 円/月
3 年 次	—	362,200 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

徳島大学病院

□ 研修の領域

脳神経内科、リハビリテーション科

□ 研修の特徴

当院は、徳島大学病院の協力型施設であり、徳島大学病院のプログラムに沿って研修が行われます。
プログラムパターン名は AWA すだちプログラムです。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																	△	

□ サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代謝	神内	腎臓	膠原	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病						

病院PR

当院は四国神経筋センターとして、筋ジストロフィー、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症等の神経・筋疾患の専門病院です。神経筋センターとしての機能以外に、ロボットリハビリを含む総合リハビリテーションセンター、スポーツ医学センター、地域医療の機能もあります。四国で唯一の神経・筋領域の臨床研究部を併設し、臨床・基礎研究、臨床治験にも注力しています。人工呼吸管理、栄養管理、リハビリテーション、在宅医療、慢性期医療に興味をもたれている方に適切な研修の機会を提供します。当院での研修により脳神経内科、リハビリテーション科の専門医の受験資格が得られます。

研修担当

□ 院長 近藤 秀治

当院は、神経・筋疾患、難病の患者さんの割合が非常に高く、研修期間中に急性期医療で経験できない全人的な慢性期医療を経験することができます。また、働きやすい環境を整えています。脳神経内科専門医やリハビリテーション科専門医を目指されている方を歓迎いたします。神経領域は新しい治療が期待されており、筋ジストロフィー等の臨床試験や研究にも参加できます。当院で研修される方を待っています。



トピックス

2024年4月に、国立病院機構とくしま医療センターとして、東病院（旧東徳島医療センター）と西病院（旧徳島病院）が一体の組織として運営を開始しました。「やさしい笑顔で、あたたかな医療を提供します。」を新しい理念として、西病院では、これまで培ってきた神経・筋疾患に関する高度で専門的な医療を推進し、四国ブロックにおける基幹医療施設として機能の充実強化を図ってまいります。



お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課

担当医師 院長 近藤 秀治

T E L 0883-24-2161

F A X 0883-24-8661

E-mail 516-toiawase@mail.hosp.go.jp





高松医療センター



病院長名	市原 典子
住 所	〒761-0193 香川県高松市新田町乙8
電話番号	087-841-2146
アクセス	JR 高松駅・ことでん高田駅から ことでんバス大学病院線利用

病院概要

診療科・医師数																2026年1月1日現在							
内	呼	消	内	循	脳	内	外	呼	外	心	外	脳	小	産	整	外	眼	耳	鼻	皮膚	放	麻	脊
3	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泌	リ	ハ	ア	精	救	病	理	感	内	他													
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							13						
																計							

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計	
220			12				232	

□ 1日平均患者数	外 来	33件	入 院	151件	(2024年度実績)	
□ 年間救急受入数	患者数	25件	救急車	15件	ドクターヘリ	0件
□ 年間手術件数	総 数	142件	全身麻酔	0件	ダビンチ	無
□ 社会保 険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用					
□ 福利厚生施設	宿 舎	有	院内保育所	有	病児保育室	無

研修体制

□ 指導医数	2名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	0回（剖検数 0件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 0回 / 月平均	専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	337,000 円/月
2 年 次	—	337,000 円/月
3 年 次	—	337,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

- ・香川大学医学部附属病院
- ・香川県立中央病院
- ・高松赤十字病院

□ 研修の領域

内科

□ 研修の特徴

- ・脳神経内科、呼吸器、糖尿病・内分泌代謝、消化器について学ぶことができる
- ・香川大学医学部附属病院との連携により脳神経内科、呼吸器内科、一般内科を中心に急性期のみならず慢性期医療まで通した研修ができる

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△																			

□ サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リ	外	外	外	外	外	診	治
		△			△									
ア	感	老	腫	内	肝	内	視	内	泌	糖				
	染	年	内	外	臓	視	鏡	分	泌	尿				

病院PR

①脳神経内科

香川県の難病ネットワークの神経・筋難病拠点病院として、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、筋ジストロフィー等の重症神経・筋難病患者の診療をおこなっています。

②呼吸器内科

香川県の結核最終拠点病院として、結核の専門的診断・治療をおこなっています。

COPD、喘息、肺がん、非結核性抗酸菌症、びまん性肺疾患等の一般呼吸器疾患の診断・治療をおこなっています。

③内科

糖尿病、生活習慣病を中心とした一般内科診療をおこなっています。慢性期の治療やリハビリテーション、施設入所待ちや在宅までの調整、がんのベストサポートケアなど地域と密着した医療をおこなっています。

④小児科

2024年10月に新設しました。神経筋疾患や重症心身障害患者など小児から成人への移行期医療を行っています。

研修担当

□ 副院長 東條 泰典

当院は高松市郊外の小高い丘の上にあり、ALSを中心とした神経難病と結核に関する拠点施設です。初期研修は脳神経内科、呼吸器内科、一般内科を中心に慢性期医療まで通した研修が可能です。後期研修は脳神経内科は神経難病の診断・治療・ケア、呼吸器内科は結核・非結核性抗酸菌症を含む呼吸器感染症や慢性呼吸不全の診療、糖尿病・内分泌内科はチーム医療を通じた患者個別治療など急性期病院では学びにくい領域も研修できます。ご応募をお待ちしています。ご応募をお待ちしています。



トピックス

2017年7月より、療養介護事業を1つの病棟で開始し、また、2018年7月からもう1つ病棟を増やし、2つの病棟で行っております。主な対象疾患は、ALS等人工呼吸をおこなっている神経難病患者です。

2018年4月より一般病棟はDPCを退出し、在院日数にとらわれず必要な医療を投入できる病床を有し、時間をかけたきめ細やかな治療が可能となりました。

2019年2月より筋ジストロフィーの診療を開始しました。

2019年3月より医療型短期入所を開始しており、在宅人工呼吸をおこなっている難病患者の入所を受け入れを開始しました。

2024年10月に常勤小児科医が着任し、小児から成人までの移行期医療に力を入れています。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課 給与係長

担当医師 副院長 東條 泰典

T E L 087-841-2146

F A X 087-843-5545

E-mail 517-Kanrika@mail.hosp.go.jp





四国こどもとおとなの医療センター



病院長名	前田 和寿
住 所	〒765-8507 香川県善通寺市仙遊町2-1-1
電話番号	0877-62-1000
アクセス	JR 土讃線善通寺駅からタクシーで5分

病院概要

□ 診療科・医師数															2026年1月1日現在
小児	新生児	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	
13	7	2	5	1	2	1	1	1	4	3	2	1	2	7	
内代	外	心外	脳外	整外	泌	眼	歯	放	病理	麻酔	他	計			
3	4	4	2	6	3	1	3	1	2	1	6	6	107		

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計	
452	215			22			689	

□ 1日平均患者数	外来	571件	入院	474件	(2024年度実績)
□ 年間救急受入数	患者数	13,803件	救急車	3,854件	ドクターヘリ 14件
□ 年間手術件数	総数	3,256件	全身麻酔	1,671件	ダビンチ 無
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用				
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数	54名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	9回（剖検数 5件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 3～5回 / 月平均	専門研修 3～5回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	317,130 円/月	408,590 円/月
2 年 次	337,590 円/月	456,980 円/月
3 年 次	—	505,470 円/月

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴	・ 自分の興味や将来の進路に合わせてコースが作れる ・ 様々な小児科診療科を研修可能 ・ プライマリケア、救急、小児・周産期、高度専門疾患まで幅広く段階的に経験可能
□ 研修終了後の進路	当院専門研修（専攻医）など
□ 研修医の出身大学	東京大学、大阪医科大学、香川大学、徳島大学、山口大学 等
□ 募集人数	8名
□ 試験日程	当院ホームページ上で案内します。
□ 選考方法	小論文と面接に基づいたマッチングの結果により選考



専門研修

□ 基本領域 (○基幹施設 △連携施設)																		
内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	○	△	△	△	△	△	△		△	△	△	○	△		△	△	△	

□ サブスペシャルティ領域 (○教育施設等 △連携施設等)

消内	循内	呼内	血液	内代	神内	腎臓	腸胃	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
	○		○	○							○		○	
ア	感	老	腫	内	肝	内視	内分	糖尿						
レ	染	年	内	外	臓	鏡	泌	病						
○	○					△	○	○						



病院PR

成人医療と成育医療の病院が統合して2013年に開院した新しい病院です。成人医療部門は、地域医療支援病院として中讃地域の医療を担っています。複数の診療科があることでほとんどの疾患に対応でき、さらに小児科と連携して小児期発症希少疾患に対する医療も提供しています。成育医療部門は、中四国唯一のPICU、四国最大級の総合周産期母子医療センター、多彩な小児専門外来をもち、四国の小児医療の砦としての役割を担います。ER型の救急部門は、香川県内有数の救急搬送受け入れ実績があり、災害拠点病院としての役割を担っています。臨床研究部門を持ち、新しい検査・治療法の開発の研究を行っています。

臨床研修医の声

□ 研修医 岸田 直也

私が当院での研修を選んだ最大の決め手は、第一印象の良さでした。また、当院は四国全域より、共通な症例から希少疾患まで多彩な症例が集まります。研修医室では仲間同士で日々の学びを共有しながら切磋琢磨しています。院内外を問わず発表の機会があるため上級医の先生方から直接ご指導を受け、非常に充実した2年間を過ごすことができる環境だと思います。ぜひ一度見学にお越しいただき、当院の魅力を実際に感じていただければ幸いです。



専攻医の声

□ 専攻医 岡本 遼

当院は小児病院と地方総合病院が統合され、両者の機能を併せ持つ全国的にも珍しい病院です。地域の拠点として救急医療や common disease を数多く経験できるだけでなく、小児各専門領域の指導医の元、重症小児や希少疾患、難病の診療も経験することができます。一緒に働くコメディカルの方々も優しい方ばかりで社会人1年目としてもとても働きやすい環境となっています。興味がある方はぜひ一度見学にいらしてください。



研修担当より

□ 教育研修部長 新居 章

当院は、病院名にあるように幅広い年代の急性期・慢性期の医療を研修できる病院です。将来専門分野としたい領域をしっかりと研修することができつつ、他科の医療知識も得ることができ、深く広く学ぶことのできる病院になっています。また当院の研修は、全国各地からの研修医の受け入れ実績があります。当院の医療スタッフと共に日々楽しく切磋琢磨できればと思っています。是非見学・実習にお越しください。



トピックス



臨床研修プログラムについて

- ◎一次から三次まで、様々な疾患・手技を経験できる
- ◎実践的な総合診療を学べる研修病院も選択できる
- ◎成人・小児の専門診療科、周産期、ICU・PICU・NICUなど高度専門的な医療が経験できる
- ◎成人救急・小児救急の代表的なケースを繰り返し経験できる
- ◎全国から集まる様々な大学出身の志を共にする仲間と研修できる
- ◎地域医療では、離島研修やクリニックなど、幅広い経験が選択可能

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 教育研修部、管理課

担当医師 教育研修部長 新居 章

T E L 0877-62-1000

F A X 0877-62-6311

E-mail 518-dr.kyouiku@mail.hosp.go.jp





四国がんセンター



病院長名	山下 素弘
住 所	〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160
電話番号	089-999-1111
アクセス	伊予鉄道横河原線（梅本駅：四国がんセンター前）下車、徒歩8分

病院概要

□ 診療科・医師数																	2026年1月1日現在
呼内	循内	消内	血液	皮膚	感内	呼外	乳外	消外	内視	泌尿	整形	形成	頭頸	婦人	リハ	放診	放治
3	2	8	2	1	1	6	7	10	2	5	1	1	6	7	1	7	3
麻酔	病理	緩和	歯口	研究	他												
4	2	3	2	1	0												計
																	85

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽心	結核	精神	感染症	療養	計	
368							368	

□ 1日平均患者数	外来	486件	入院	241件	(2024年度実績)
□ 年間救急受入数	患者数	834件	救急車	133件	ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数	総数	1,923件	全身麻酔	1,571件	ダビンチ 有
□ 社会保険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用				
□ 福利厚生施設	宿舎	有	院内保育所	有	病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数	24名	2026年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況	2回（剖検数 3件）	(2024年度)
□ 学会・研修会への参加費用	支給有り（発表者のみ）	
□ 当 直	臨床研修 0回 / 月平均	専門研修 1.5回 / 月平均
□ 給与（目安）	※当直手当等は別途支給	

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	420,000 円/月
2 年 次	—	460,000 円/月
3 年 次	—	480,000 円/月

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名

愛媛大学医学部附属病院、岡山大学病院、高知大学医学部附属病院、
国立病院機構高知病院、済生会今治病院、済生会松山病院

□ 研修の領域

血液腫瘍内科、感染症内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、緩和ケア内科

□ 研修の特徴

- 1) がん医療を包括的に学ぶことができます。
- 2) 病理とのカンファレンスをはじめ、多職種討論の機会が豊富です。
- 3) ローテーションの希望内容に柔軟に対応しています。

専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△	△	△		△	△		△		△				△	

□ サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	腸リフ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
△		△	△					△	△			△	○	○
ア	感	老	薬	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	療	外	臓	視	分	尿						
	△		○		△	△								

病院PR

独立行政法人国立病院機構四国がんセンターは、愛媛県唯一となる県がん診療連携拠点病院であるとともに、がんゲノム医療拠点病院として標準的ながん医療を実施しています。それらと並行し、新薬開発のための治験及び臨床研究を精力的に行っているのが当院の特徴になります。施設内の大型医療機器としてリニアック2台、イリジウム RALS1台、PET-CT2台、MRI2台（3テスラ含）、64列 CT2台、アンギオ CT1台、SPECT1台があり、いずれも1週間以内に実施可能となっています。敷地内には宿泊施設「暖だん」を併設しており、遠方から来られる方々へのサポートも充実したものとっています。また、ダビンチ Xi2台有しており、ほぼ全ての外科系でロボット支援手術が実施されています。

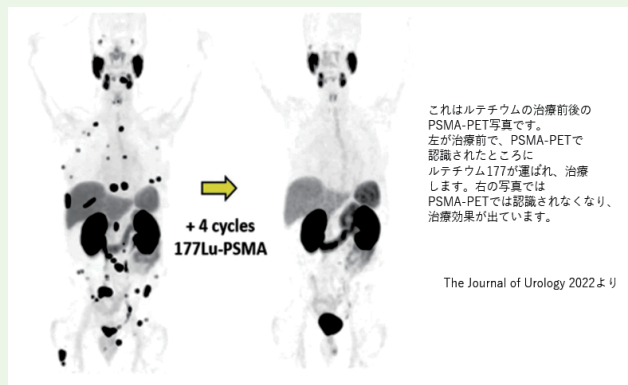
研修担当

□ 教育研修部長 吉田 功

国立病院機構で唯一のがんゲノム医療拠点病院であり、連携病院と連携しながら遺伝子パネル検査に基づくエキスパートパネルを実施しています。2025年度より造血管腫瘍遺伝子パネル検査を用いたエキスパートパネルが加わりました。がん領域の診断及び治療の進歩は著しく、数年先の医療を治験を通して経験することも当院研修の魅力の一つとなっています。従来よりコメディカルとの関係性が良好な当院で、皆様と一緒に研修をされることを心よりお待ちしております。



トピックス



多数の新薬開発治験を取り扱っており、当院で実施された治験の中には国内承認となった薬剤が多数存在します。PETを有する当院では、2026年2月よりブルヴィクト（ルテチウム177）による治療を開始しました。ブルヴィクトは、前立腺特異的膜抗原（PSMA）陽性の遠隔転移がある去勢抵抗性前立腺がんに対する薬剤で、RLT（Radioligand Therapy：放射性リガンド療法）という治療に用いられます。前立腺がん細胞にあるPSMAに結合するリガンドという物質にルテチウムという放射性物質を付けた薬です。ブルヴィクトを点滴して、からだの中で放射線がん細胞へ照射する治療です。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課 庶務班長

担当医師 教育研修部長 吉田 功

T E L 089-999-1111

F A X 089-999-1100

E-mail 519-scc-kensyu@mail.hosp.go.jp





愛媛医療センター



病院長名	船田 淳一
住 所	〒791-0281 愛媛県東温市横河原366
電話番号	089-964-2411
アクセス	伊予鉄横河原線 愛大医学部南口駅で下車 徒歩3分

病院概要

診療科・医師数															2026年1月1日現在				
内	呼	消	内	循	脳	内	外	呼	外	心	外	小兒	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
2	7	6	5	1	1	1	1	1	0	0	3	0	3	0	0	0	0	3	1
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感	内	他											
0	0	0	0	0	0	0	0	0							34				

□ 病床数（医療法病床数）								2025年10月1日現在
一般	一般うち重心	一般うち軽シス	結核	精神	感染症	療養	計	
148	160		16				324	

- 1日平均患者数 外来 172件 入院 266件 (2024年度実績)
- 年間救急受入数 患者数 4,613件 救急車 2,009件 ドクターヘリ 0件
- 年間手術件数 総数 417件 全身麻酔 138件 ダビンチ 無
- 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
- 福利厚生施設 宿舎 応相談 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

- 指導医数 12名 2026年1月1日現在
- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 2回（剖検数 1件） (2024年度)
- 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
- 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 1回 / 月平均
- 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	—	420,000 円/月
2 年 次	—	441,000 円/月
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

協力型臨床研修病院

- 基幹病院名
- ・愛媛大学医学部附属病院
 - ・愛媛県立中央病院
 - ・松山赤十字病院、松山市民病院

- 研修の領域
- 内科、外科、整形外科、病理、総合診療科

- 研修の特徴
- 各研修医に合わせたプログラムで研修が行われるように工夫しています。複数の科で連携した研修も可能です。

専門研修

- 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
小	児	膚	神		婦	外		鼻		外		酔	理	査	急	外	ハ	診
△				△		△												

- サブスペシャルティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リ	外	外	外	外	外	診	治
△	△	△							△					
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
					○		泌	病						

- その他特記事項
- 希望する内科専門領域を体系的な研修により臨床力を身につけることができます。脳神経内科、外科、放射線科、麻酔科等との診療連携がスムーズです。学会などでの発表や臨床研究も奨励しています。施設内のみならず、他の医療機関との交流研修の準備もしています。

病院PR

当院は、四国地区における呼吸器疾患の基幹医療施設及び循環器病・重症心身障害の専門医療施設としての機能を担っています。結核をはじめとする各種政策医療の中で慢性疾患、神経難病の高度専門医療を担当しています。また、近年は急性期医療にも力を入れており、専門性を生かした検査・治療を行っています。

■専門医資格関連情報（2026年1月1日現在）

日本内科学会認定内科専門研修プログラム連携施設、日本呼吸器学会認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設、日本循環器学会専門医研修施設、日本整形外科学会認定医研修施設等

研修担当

□ 副院長 伊東 亮治

内科（呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、脳神経内科）、外科、整形外科、小児科（Post-NICU）を専門とする医療機関です。診療科に限られ、医師数30名程度ですが、指導医のみならず、他科の医師との連携が可能な環境にあるため、専門領域はもとより総合的な臨床力が身につくものと思われます。



トピックス



当院は愛媛県の中央に開けた道後平野の東部に位置し県都松山市に接し、松山中心部へは国道11号線、伊予鉄高浜横河原線を通じたところにあります。北西隣地には愛媛大学医学部を擁しています。平成7年4月から呼吸・心臓のリハビリテーションなどの回復期医療を開始、平成22年9月から睡眠センター（SAS 疾患診療）の立ち上げを行い、平成23年12月からは糖尿病内科を新設し、平成25年7月には Post-NICU も併設しました。平成28年4月からは二次救急医療機関として地域の救急医療の一端を支えています。令和6年8月には肺非結核性抗酸菌症センターを開設し同疾患に対する専門的な診療を提供しております。

お申込み・お問い合わせ

照会窓口 事務部 管理課

担当医師 副院長 伊東 亮治

T E L 089-964-2411

F A X 089-964-0251

E-mail 520-kanrikachou@mail.hosp.go.jp





高知病院



病院長名	先山 正二
住 所	〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1-2-25
電話番号	088-844-3111
アクセス	JR 朝倉駅下車・・・徒歩10分 高知市内からのバスの便あり・・・はりまや橋から25分 とさでん交通バス（Y2～Y6）

病院概要

□ 診療科・医師数

2026年1月1日現在

内	呼	消	内	脳	外	呼	消	心	脳	小	産	整	眼	耳	鼻	皮	放	麻
2	5	4	1	0	5	4	0	0	0	7	4	2	1	2	0	1	4	
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感	他						計					
2	1	1	0	0	1	0	2						49					

□ 病床数（医療法病床数）

2025年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち部ス	結核	精神	感染症	療養	計
282	120		22				424

- 1日平均患者数 外来 414件 入院 293件 （2024年度実績）
□ 年間救急受入数 患者数 3,571件 救急車 1,503件 ドクターヘリ 1件
□ 年間手術件数 総数 1,974件 全身麻酔 1,601件 ダビンチ 無
□ 社会保険 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設 宿舎 有 院内保育所 有 病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数 26名

2026年1月1日現在

- 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 1回（剖検数 5件）（2024年度）
□ 学会・研修会への参加費用 支給有り（発表者のみ）
□ 当 直 臨床研修 0回 / 月平均 専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安） ※当直手当等は別途支給

	臨床研修	専門研修
1 年 次	400,000 円/月	500,000 円/月
2 年 次	450,000 円/月	520,000 円/月
3 年 次	—	—

研修概要

臨床研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴

当院の研修プログラムでは災害医療センター、京都医療センター及び中四国グループ内の機構病院を協力施設に加え、より多様な臨床研修の場を提供しようと考えています。更に、高知県内の基幹病院が互いに協力型病院となり、研修の幅が広がっています。

□ 研修終了後の進路

当院、高知大学、近森病院等

□ 研修医の出身大学

高知大学、東京医科大学等

□ 募集人数

5名

□ 試験日程

随時

□ 選考方法

面接



専門研修

□ 基本領域（○基幹施設 △連携施設）

内	小	皮	精	外	産	整	眼	耳	鼻	泌	脳	放	麻	病	検	救	形	リ	総
△	△												△						

□ サブスペシャリティ領域（○教育施設等 △連携施設等）

消	循	呼	血	内	神	腎	膠	消	呼	心	小	乳	放	放
内	内	内	液	代	内	臓	リウ	外	外	外	外	外	診	治
ア	感	老	腫	内	肝	内	内	糖						
レ	染	年	内	外	臓	視	分	尿						
						鏡	泌	病						

病院PR

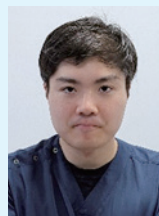
国立病院機構高知病院は国の政策医療を担っており、免疫アレルギー、癌、呼吸器、腎、成育などについて、それぞれ特徴ある医療を行っています。さらに、国立病院機構高知病院は26診療科を有する基幹病院として、これらの政策医療を推進するのみならず、一般診療においても充実した機能を有し高知市における地域医療の一翼を担っています。

このような病院の特徴を生かし、協力施設と緊密に連携し、国立病院機構高知病院群一体となった質の高い卒後研修カリキュラムを提供します。国立病院機構高知病院群における卒後研修プログラムは患者の人権を守りつつ、質の高い、患者の立場にたった医療が行える臨床医を養成し、人間的にも優れた優秀な医師を多く地域に送り出すことを目指しています。

臨床研修医の声

□ 研修医 高島 志門

当院での臨床研修の特徴は、各個人の考えや希望に沿った研修プログラムを組み立てられる点にあると思います。当院は募集定員が少ないため基本的に希望した科を希望した時期に回ることが可能です。また、国立病院機構のネットワークを活かした研修も積極的に行われており、全国各地で開催される機構主催の勉強会への参加や県外のグループ病院での研修に多くの実績があります。その他にも論文執筆や学会発表にも力を入れており、上級医の先生の手厚い指導のもと、これまでも多くの研修医が演者や筆頭執筆者となって学術活動に取り組んでいます。



研修担当より

□ 臨床研究部長 竹内 栄治

【研修プログラムの特色】

- 各診療科間の横のつながりを密にしたプライマリケアを重視した研修を行います。機構病院のネットワークを活用した各種研修に参加を奨励します。
- 協力病院は機構内の病院や、高知県内の全基幹型病院と幅広い選択が可能です。
- 地域医療連携室を中心とする病診・病病連携に積極的に参画するように教育し、病院主催のフォーラムなどへの参加も指導します。
- 学会・研究会への積極的な参加を奨励し、発表の機会を提供します。症例報告等の論文作成を指導し、院内雑誌等への投稿を奨励します。



トピックス

当院での臨床研修の特徴は、各個人の考えや希望に沿った研修プログラムを組み立てられる点にあると思います。当院は募集定員が少ないため基本的に希望した科を希望した時期に回ることが可能です。また、国立病院機構のネットワークを活かした研修も積極的に行われており、全国各地で開催される機構主催の勉強会への参加や県外のグループ病院での研修に多くの実績があります。さらに論文執筆や学会発表にも力を入れており、上級医の先生の指導のもと、今までも多くの研修医が演者や筆頭執筆者となって学術活動に取り組んでいます。

お申込み・お問い合わせ

- 照会窓口 事務部 管理課 庶務班長 西竹 敬樹
担当医師 臨床研究部長 竹内 栄治
TEL 088-844-3111
FAX 088-843-6385
E-mail 521-syomu@mail.hosp.go.jp

